

11期 外国文化を楽しむ科

～え！そなん・ふしぎやね～

日時： 9月13日（水） 10時～12時
場所： 北大阪生涯学習センター
講師・ ゾルカナイン パサンパセリさん
内容： 「マレーシアの多様性と調和について」



・パサンパセリさんは日本でハラールビジネスを進めている会社のCEOとして活動され、ハラール食品などを販売されています。ハラールとはムスリムの食事に関する規定。例えば豚肉は食べないとかお酒は飲まないとか・・・

イスラムは・・・平和に生きるための生き方（システム・基準）

ムスリムは・・・イスラムに従って生きること、イスラムは宗教ではない。

・マレーシアでは信仰は自由・

イスラム、仏教・キリスト教・ヒンズー教・その他・・・それぞれ宗教によって学校の制服も違う。逆にみんなが同じ制服を着ないといけないという概念はない。それぞれ違っていいという文化がある。服装も宗教によって違いがある。休日も宗教によって違う。



マレーシアの食べ物



マレーシアは住みやすいので、年金生活の人たちが移住して住んでいる。年間を通じて気温が一定しているため過ごしやすい。物価も安い。

資源があるので学費・医療費が無料。

貧富の差はある。一部の金持ちが貧しい人に寄付をするという仕組みもある。

王族がいて各州にスルタンと言われる人が9人いる。政治にはかかわらない。もとはやくざだったともいわれる。

多民族国家で マレー系・中国系・インド系がいる。

・マレーシアと日本の関係

会社では日本円が使える。マレーシアは今までアメリカやイギリスしか見てなかったが、戦後の日本の復興を見て日本に学ぼうとビジネスパートナーとして試している。空港やタワーは日本が作った。

マレーシアの多様性と調和

- ・宗教はそれぞれ自由
- ・宗教に強制があってはならない。
- ・差があってあたりまえ。それぞれの違いを理解する。
- ・違いがあって当たり前、違いを認めること・・・それぞれの宗教・文化で生きてください・・・という姿勢。○



《午後の活動》

受講生による

『世界を旅して』シリーズ第1回

アメリカでの生活体験・・・際さん

夫の仕事の関係で2015年から2018年まで暮らしたアメリカ ヒューストンでの生活体験を語っていただきました。

ヒューストンでの日本人は約4000人。日本との時差は15時間。

ちがいがあって当たり前。その違いを認めること・・・今の私たちに必要な事かも



・アメリカでの銃社会について・・・銃を持つのは合法で手軽に銃が買える。車のダッシュボードにおいてあったりする。

・6から11月はハリケーンシーズンでみんな覚悟しているが・・・
・スーパーには新鮮な野菜が多い。比較的健康的志向の割にはケーキなどどぎつい色を使っている??

・日本食品のスーパーや韓国系のスーパーなど充実している。
夫の仕事関係の人を呼んでのホーム

パーティーのことなど、時間いっぱいにお話していただきました。

(まとめ CA高山)